

高い公共性をもつ精神医学教室の責務  
個人と社会の精神的幸福の実現を目指して



DEPARTMENT OF NEUROPSYCHIATRY  
GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, THE UNIVERSITY OF TOKYO

## 精神科医療スタッフ研修生 臨床研修プログラム 第5期 研修生募集 (平成28年4月～30年3月)



### 研修プログラム説明会

日時；平成27（2015）年12月10日18:30～

場所；東京大学医学部附属病院 精神神経科医局

申し込み；氏名・所属・年齢をe-mailでお知らせください

E-mail; taraki-tky@umin.ac.jp

#### 1次選考（書類）

・ 締切：平成28（2016）年1月15日

・ 履歴書・職務経歴書

・ 小論文（研修プログラムでやりたいこと・1200字）

#### 2次選考（面接）

・ 対象：1次選考合格者 ・ 平成28年2月～3月(応相談)

#### ～研修プログラムの対象～

次世代の精神保健・医療を担うプロフェSSIONALを目指す多職種の若手の方  
(精神保健福祉士・臨床心理士・作業療法士・看護師・保健師)  
精神保健・臨床心理・教育系大学院に所属し、臨床研究者を志す方

#### ～研修内容～

東京大学精神科において精神医学の正しい知識を理解し  
大学病院・総合病院における精神医療の実際を総合的に学べます  
外来、病棟、デイホスピタル、リエゾン研修などを通して、  
地域精神医療・多職種協働アプローチが学べます

# 精神科医療スタッフ研修生 臨床研修プログラム 概要

## 研修プログラムの概要

- ・2年間（H27年4月～H29年3月）
- ・週3日～（応相談）・時間；9時から17時
- ・病院臨床実習（病棟・外来）
- ・地域サービス見学（成人デイケア・早期支援サービス・就学・就労支援）
- ・臨床研究への協力・参加
- ・専門医療の見学・実習（こころのリスク外来、こころの検査入院等）

## 研修の対象

- ・精神医療における総合的な実践能力を現場で身につけたい方
- ・精神医療スタッフとしてのスキルをアップしたい方
- ・研究と実践を幅広く学びたい方
- ・精神保健福祉士、臨床心理士を目指す方
- ・既に精神保健福祉の現場で数年間のキャリアがあり、さらにスキルアップしたい方

## 1年目研修の例

### Lecture

～講義～

精神医学概略  
精神科クルズス  
各種研修会  
講演会

### Practice

～実践スキル～

外来実習  
病棟実習  
リエゾン見学実習

### Service & Community

～サービス・地域の実際～

デイホスピタル研修  
心理検査実習  
地域派遣事業見学

### Clinical Research

～臨床研究入門～

臨床研究見学参加  
研究会・学術集会参加  
データ収集・研究実施  
（修士論文・博士論文等）

内容はご希望に沿ってアレンジいたします。

## 笠井清登

（東京大学 医学部附属病院 精神神経科 教授 <http://npsy.umin.jp/>）

本プログラムは、精神保健・医療・福祉や臨床心理の領域で活躍しようとされている若手の多職種の方々に、当科ならではの貴重な実地経験を提供するものです。こうした専門職の方々にとって不足しがちな、総合病院での精神科診療、コミュニティ精神保健・医療などの研修経験を積んでいただき、大きく成長していただければと願っています。幸い当科には、精神科医のみならず、多数の臨床心理士、精神保健福祉士等がスタッフとして働いており、皆さんのロールモデルとなるでしょう。また、大学病院ではありますが、さまざまなコミュニティとの連携を行っていることも特長です。ぜひご参加ください！



## 荒木 剛

（医師・医学博士 医学部ユースメンタルヘルス講座 特任准教授）

我々は色々な人が自らの力で生きていく上で少しでも手助けができないかと日々の診療を行っております。今後の精神医療において多職種で連携をとって支えていくことが必須となっており、どのような場面にも対応できるスタッフが求められています。本プログラムを活用する精神医療の一端を担う方との仕事を楽しみにしています。



## 菊次 彩

（作業療法士 医学部ユースメンタルヘルス講座 学術支援専門員）

私は、以前は現場で作業療法士として働いていました。現在は、専門外来での診療支援のほか、思春期コホート研究に主に携わっています。実際に様々な場面に関わることで、専門的な知識のほか総合力やマネジメント力が医療者にも必要となることを実感しています。多くの機会を経験することで、医療者としての視点や可能性も広がると思います。



## 萩原瑞希

（臨床心理士 東大病院精神科リエゾンチーム 第1期精神科研修生）

プログラムに参加し、様々な経験をさせていただきました。精神医学の知識の基礎固めから臨床現場での活動、研究に関する研修会など実際にはこの期間で経験することができない内容です。そして、何よりも様々な先生方から近い距離でご指導いただく機会に恵まれていることが研修の醍醐味だと感じています。確実に自身の大きな糧になっています。精神医療に携わりたい方は是非参加をお勧めします。



## 笠原華葉

（臨床心理士 国府台病院デイケア 第2期精神科研修生）

私はこれまで教育分野で経験を積んできましたが、アセスメントや精神医学を学び直したいと思い、本研修に参加しました。研修を通し、人を支援するには、個人や環境を把握するだけでなくその人自身の希望や幸せを考慮することも大切であると実感しました。心理士の枠に留まらず、多職種の方々と関われる本研修は、対人援助職として視野を広げる良い機会になると 생각합니다。

